

ダルストーンステップ 施工要領

- ①標準施工図のように階段基礎工事をを行います。蹴込み寸法が 101～150 mmにするときは、標準施工図の位置にボイド管（φ75 mm）を埋め込んでおきます。ボイド管埋め込み深さは 100 mm以上とします。アンカー位置はダルストーンステップの端部から 100 mm内側にします。蹴込み寸法が 100 mm以下の時は、アンカー施工は必要ありませんので②③⑤は飛ばしてください。



- ②ダルストーンステップを養生し裏返します。アンカー位置を罫書き、コンクリート用ドリルを用いて **φ14.5×深さ 45 mm**の穴を開けます。ドリルの刃の深さ 45 mmの位置にテープなどで印をつけておきます。穴径、穴深さを厳守してください。ダストポンプで切粉の清掃をします。



- ③穴の深さが 45 mmであることを確認し、グリップアンカーを打込み棒で打ち込みます。アンカーをねじ込み、ナットで固定します。



- ④基礎上面や、製品の底面に凹凸がある場合は、サンダー等で削って平らにしておきます。またレイタンスがある場合は、ワイヤーブラシ等で除去し、水で洗浄しておきます。



⑤ボイド管穴内と周囲を水湿しし、モルタルを充填します。アンカーを挿入したときにあふれ出さないように、2mm程度低く充填してください。周囲が汚れたときは、濡れたウエスなどで清掃してください。



⑥同時にボンドE250の主剤と硬化剤を等量、十分に練り合わせボンドヘラで基礎上面の全面に塗布します。使用量は800g/m²が標準です。(充填モルタルの上には塗布しないでください。ボンドE250は表面が湿っていても接着可能です。ボンド箱に記載された注意事項を必ず読んでください。)



⑦ボンド塗布後、直ちに貼り合わせます。アンカーを充填モルタルに内に挿入し、確実に固着されるように、ゴムハンマーなどで振動を与えながら施工します。ボンドが圧着されていることを確認します。石などが挟まっている、大きな凹凸があるなどしてボンドが圧着されていない場合は、それを取り除きやり直してください。最低5~6時間は動かぬように固定、養生してください。温度が5℃以下になると極端に硬化が遅くなります。5℃では3日間養生してください。

